

## 災害復旧への取り組み

# 平成26年2月発生の大雪の除雪について

発注者：札幌市  
 工事名：北区南地区道路維持除雪業務



この工事は、札幌市北区南地区の道路の維持管理を1年間行うものです。道路の安全確保のためのパトロールを行い、不具合箇所があれば補修のための工事を行っています。また、交通事故が起きた場合は事故処理を手伝い、交通開放後に通行車両に支障のないように対応したり、豪雨により道路が冠水し通行止めとなった場合は24時間体制が必要とされる対応をしています。



冬期は除雪センターを開設し、モーターグレーダーやタイヤショベルを使用した車道の除雪作業、大型ロータリー車によるダンプトラックへの積雪の積み込み作業、郊外への運搬作業、融雪剤散布車を使用した散布作業を24時間体制で地域住民への対応を行っています。札幌市は、人口約190万人の大都市です。世界的でも人口100万人を超える都市で毎冬約6mの降雪が

ある都市は珍しく、近年は人手不足や作業員の高齢化、ダンプトラックの減少等の問題により除雪困難地域となっています。しかし、除雪が十分に行われなければ交通渋滞やスリップによる交通事故などの重大な問題が発生する危険性が高まりますので、地域住民の方々の快適な生活を確保するために、各担当者がそれぞれ使命感を持って日々奮闘しています。

### 感謝状を受領

発注者：国土交通省関東地方整備局  
 工事名：四ツ木地区安全施設改修ほか(その2)工事

関東地方で2週間続けて記録的な大雪に見舞われた際、施工区間前後の約1kmの新四ツ木橋歩道部及び階段部の除雪をしました。前日より大雪の予報であったため、降雪前に路面凍結防止対策を行いました。予想以上の大雪に見舞われたため当社工事区間外の除雪についても自主的に対応しました。また、深夜には所轄警察から国交省へ除雪要請があり、その除雪作業も当社で対応し、地域防災の一端を担うことができました。



発注者：国土交通省関東地方整備局  
 工事名：H24大宮国道管内交通安全対策他工事

記録的な大雪に見舞われた際、大宮国道事務所との災害時協力協定により依頼を受け、当社の除雪担当区間は国道17号線浦和地区でしたが、国道16号線の入間地区にスタック車両が多数あり通行止めが続いていたため、急遽その区間の除雪も依頼されました。依頼後直ちに協力業者と共に現場へ向かいましたが、国道が通行止めとなり現場到着にはかなりの時間を要してしまいました。現地には相当な積雪があったため、付近のリース会社からバックホウを搬入し、人力と併用で除雪しました。その結果20時頃には上下1車線の通行を確保することができ、入間警察の確認後交通開放となりました。さらに、翌日、翌々日は歩道側1車線をふさいでいる雪の排雪作業を行い全面開放することができました。この除雪作業は協力会社5社延べ18名と埼玉営業所職員延べ18名で対応しました。



発注者：国土交通省関東地方整備局  
 工事名：新宿地区改良等工事

工事期間中の平成26年2月8日と2月14日、45年ぶりの大雪に襲われました。2月8日は早朝から雪がちらついたため、職員と作業員で凍結抑制材を歩道全面に散布することとし、8:00～20:00、20:00～翌朝8:00までの24時間を2交代で対応しました。また、2月14日は夜半から大雨に変わり、それまでの積雪で雨水が遮断され、西新宿一丁目交差点の車道が冠水し、横断歩道も歩くことができない状態になりました。そのため、横断歩道上の除雪を行い、歩行者が安全に通行できるようにしました。新宿駅は1日14万人の歩行者が往来し、歩行者が途絶えることのない場所であるため、歩道を確保しながらの除雪作業でした。



## 東日本大震災 復興関連

平成25年度も東北支店管内の福島・宮城・気仙沼・釜石の各営業所で東日本大震災の復興事業に取り組んでいます。

### JR大船渡線のBRT(バス高速輸送システム)化に関わりました

2011年3月の東日本大震災で気仙沼線、大船渡線が甚大な被害を受けました。鉄道復旧の検討と並行して、できるだけスピーディに安全で便利な高速輸送サービスを提供できるよう、「BRT」による復旧を進められています。大林道路は大船渡から小友までの施工延長13.4kmの軌道構造をBRT専用道に改築するため、舗装工事中心に関わりました。



概要	
●件名	東北地方太平洋沖地震に伴う災害復旧(大船渡線復旧1.2)
●元発注者	東日本旅客鉄道(株)東北工事事務所
●発注者名	鉄建建設(株)・ユニオン建設(株)共同企業体
●施工場所	岩手県陸前高田市～大船渡市
●施工延長	L=13.4km
●担当事務所	東北支店気仙沼営業所
●現場代理人	山本秀人

発注者：環境省  
 工事名：平成25年度富岡町片付けごみ仮置き場敷地造成工事

当工事は、富岡町民の帰還のため、片付けごみ等(対策地域内廃棄物)の仮置きや選別を行うための敷地を整備する工事です。工事は、別途工事の除染工事が完了した箇所から着手していきます。工程的には厳しいですが、無事故で完成させるため、作業に携わる全員が一丸となり工事を進めていきます。今後も福島県内の復興、東北地方の復興に貢献していくつもりです。

発注者：気仙沼市  
 工事名：平成25年度第288号  
 気仙沼漁港水産加工施設等集積地盤整備工事

東日本大震災の津波で被災した区域の再区画整理に伴い、水産加工施設の集積地を整備する工事です。現場は南気仙沼地区と鹿折地区の2工区あり、別途発注の上下水道・ガス・電力柱等のインフラ整備工事との同時施工のため、各工事との調整しながら施工しています。少しでも早く各水産関連企業が再稼働できるよう、各業者と協調し、無事故で完成を迎えられるよう頑張っています。

発注者：仙台市  
 工事名：中島埠頭荷捌地災害復旧工事

当工事は宮城県・石巻港において、東日本大震災で壊れた構造物や瓦礫を撤去した後、荷捌ヤードを1m程度の高上げ盛土を行い、舗装を行う震災復旧工事です。石巻港を使用する他企業の荷捌げ作業を止めずに行わなければならない昼・夜の施工体制をとることにより、石巻港の運営に支障を与えずに工事を進めました。このため、当工事の資機材供給には大変苦労をしましたが、無事竣工することができました。

## 東日本大震災 復興関連

発注者：東日本高速道路株式会社

工事名：常磐自動車道 双葉地区舗装工事



双葉工事事務所  
長井 伸芳

当工事は東日本大震災の影響を受け一時中断していましたが、工事区間内の除染作業（別途工事）も完了し、土工事（別途工事）からの引き渡しを受けた箇所より当工事の施工を開始しています。  
当工事施工区間の約7割が帰還困難区域内にあるため、工事従事者の被ばく管理を確実にし、日々の施工を行っています。常磐自動車道の開通が福島県双葉地区の復興を加速させるものと期待されていますので、職員・協力会社従業員が一丸となり早期開通を目指し努力していきます。



楢葉PA 上り線 路盤準備工 4月下旬



楢葉PA 上り線 路盤準備工 4月下旬



松倉沢橋～STA97+60 加熱アスファルト安定処理路盤工 8月下旬

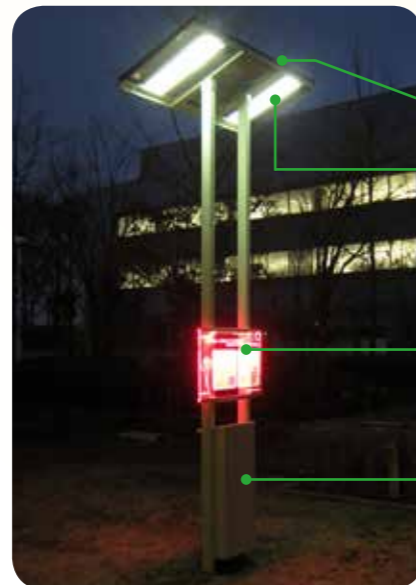


前田川橋～上羽鳥橋 加熱アスファルト安定処理路盤工 8月下旬

## 環境商品の提案

### 導光板ECO Light & ソーラー発電LED街路灯

大林組技術研究所内に導光板サイン付きのソーラー発電街路灯を設置しました。導光板ECO Lightはアクリル板やガラス板の板面を光らせ、照明や広告・サインとして街に彩りを加える製品です。自由なデザインでカラフルに明るく発光させることができ、ソーラーパネルと合わせて、自家発電する電気代ゼロのサイン灯、街路灯を提案しています。



●ソーラーパネル  
●LED導光板照明

●LED導光板サイン

●タイマー・コントローラー  
●バッテリー



## 海外工事

### ラオス：国道9号線整備工事

平成24年度に(株)大林組・大林道路(株)JVとしてラオス国道9号線（メコン地域東西経済回廊）整備工事を受注し、平成27年3月完成を目指して現在も施工中です。



着工前



完成区間

#### 現地担当者の声



工事主任  
丸山 敦裕

2014年4月末時点で、施工を開始して1年5カ月が経過し、工事の進捗は75%程度です。撤去工、下層路盤工はほぼ完了し、路盤工・基層工を施工しています。昨年度は、採掘していた骨材の品質低下の問題や使用機械の部品調達の問題で苦労しましたが、それらの問題を解決し、現在は順調に施工を行っています。また、50km程度離れた第2工区の作業も開始し、間近に迫った雨期までに少しでも多く舗装を行うべく、2台のフィニッシャーで舗設作業を行っており、一日も早く完成することを目標に今後も安全に作業を進めていきたいと思っています。

#### 概要

- 工事名：ラオス国道9号線（メコン地域東西経済回廊）整備工事
- 工期：2012年4月26日～2015年3月31日
- 工事場所：ラオス人民民主共和国サバナケット県
- 工事概要：2000～2002年に無償援助案件として改修された国道9号線（約133km区間）のうち、損傷区間の改修工事（工事延長58.1km）
- 既設舗装撤去／新規路盤／舗装 L=49.085km
- 再利用路盤／舗装 L=8.750km
- コンクリート舗装 L=0.265km
- 排水工事 L=101.800km
- 付帯工事 1式

#### 北嶋機主任が瑞宝単光章を受章



現在この工事を担当している北嶋機主任が2013年11月に瑞宝単光章を受章しました。入社以来40年に渡り道路建設工事に従事し、高い技術で多大な実績を残すとともに、後進の指導育成や安全衛生活動にも積極的に取り組んできた点が評価されました。

## ミャンマー：平成25年度 道路舗装技術モデル事業による海外普及性調査業務

日本の道路舗装技術を海外に普及させるための調査業務の企画提案書を平成25年8月に国土交通省へ提出しました。審査の結果、当社の企画が採用され、国土交通省と業務契約し、ミャンマー国エヤワディ地域タヌビュー（ヤンゴン市から約70km西）で路上再生路盤工法のモデル施工と技術指導を現地で行いました。



現地自治体技術者 現場見学



路上再生路盤工法 施工状況



機械操作指導

#### 現地担当者の声



管理技術者  
鈴木 大嗣

今回の業務を行ったミャンマーは2011年に軍政が解かれるまで諸外国との交流が限られていたため、道路の整備においても機械化が進んでおらず、浸透式マカダム舗装という簡易舗装が主流であり通行車両による道路の損傷が多く見受けられました。今回の業務では、これらの不具合を特殊大型機械により解消できる工法であったため、試験施工時には建設大臣・副大臣や自治体の技術者の視察やテレビ取材が来るほど注目を集めていました。現地の技術者や作業員の方々に施工技術を指導しましたが、彼らも一生懸命取り組んでくれ無事に業務を完了することができました。業務完了後、沿道住民や利用者からも好評を得ることができ、非常にうれしく思っています。



ミャンマー建設省 副大臣現場視察



公共事業庁道路試験所 打合せ状況



公共事業庁総裁との打合せ



ミャンマーでの在来工法